

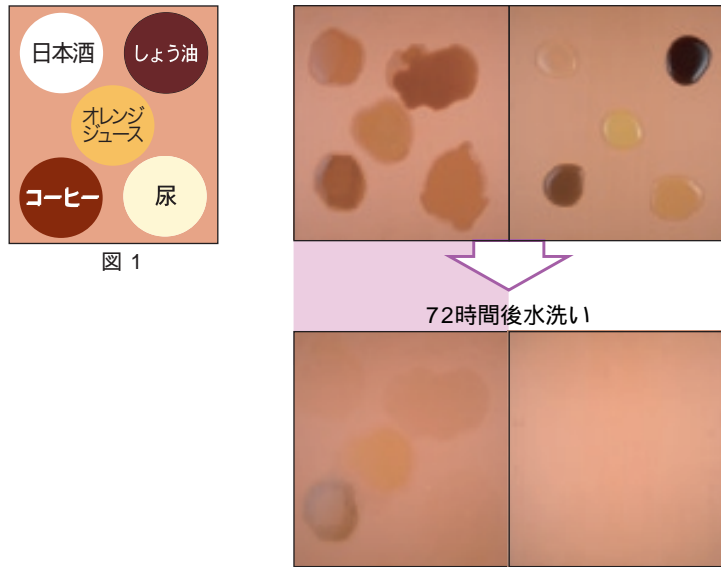
建築石材用浸透性保護剤・防汚剤(自然色仕上げ)

アリストン

防汚性試験

テラコッタタイルにアリストンを塗布したものと無塗布のものに、図1のように日本酒、しょう油、オレンジジュース、コーヒー、尿を滴下し、72時間後水洗いをした。アリストンを塗布したテラコッタタイルの表面にはシミが残っていないのを検証した。

※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



耐油性試験

テラコッタタイルにアリストンを塗布したものと無塗布のものに、図2のようにサラダ油、潤滑油、オリーブオイル、エンジンオイルを滴下し、24時間後水洗いをした。アリストンを塗布したテラコッタタイルの表面にはシミが残っていないのを検証した。

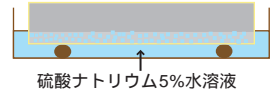
※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



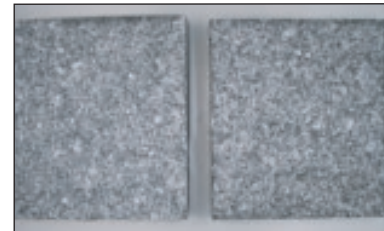
エフロ防止効果

御影石(パーナー仕上げ)にアリストンを塗布したもの(右)と無塗布のもの(左)とを硫酸ナトリウム5%水溶液に右図のように浸漬しエフロ防止効果を検証した。

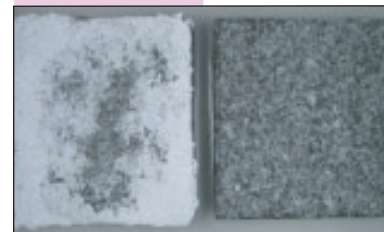
※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



浸漬直後



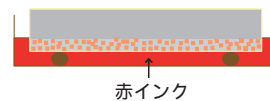
1500時間後



吸い上げ防止効果

大理石にアリストンを塗布したもの(右)と無塗布のもの(左)とを赤インクに下図のように浸漬し吸い上げ防止効果を検証した。

※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



無塗布 アリストン塗布



1500時間後



建築石材用浸透性保護剤・防汚剤(自然色仕上げ)

アリストン

特 長

- アリストンを塗布すると、基材内部に浸透して優れた撥油性と撥水性を持った保護層を形成し汚れの浸透を抑制するため、汚れにくく、また汚れても容易に除去出来るのでメンテナンスの負担を軽減します。
- 石材の吸水率を著しく低下させ裏面からの水分・不純物の吸い上げを防ぎ、凍結によるヒビ割れ・劣化・風化を抑制・防止します。
- 石材の風化・劣化・エフロレッセンス(白華)を抑制し長期にわたり保護します。
- 石材・タイル等の色合いを損なわず自然な風合いに仕上げます。

用 途

- 御影石・大理石・テラゾー・磁器タイル・レンガ・セメント目地等の保護及び汚れ防止。
- エフロの石材表面発生や裏面からの水分・汚れの吸い上げ防止。撥水・撥油効果による石材表面からの汚れの浸入防止。

使用 方法

- 1 塗布面に汚れ、ゴミ、油分、ワックス等が付いているとアリストンの密着・浸透が悪くなりますので、十分に洗浄除去し乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・ムラ・白化の原因となります。
- 2 塗布しない部分や基材にはマスキングをしてください。
- 3 アリストンを耐溶剤用容器に入れ、不織布・ローラー・ミヤキモップ・ハンディーモップ等で基材全体に塗りムラがないように塗布します。
(標準：2回塗り)
1回目塗布後、夏場約2~5分、冬場約5~10分たってから2回目の塗布作業をしてください。
(1回目の塗布後、時間を置きすぎると2回目が十分に浸透しません)
- 4 塗布作業中に液だまりができた時は速やかに拭き上げてください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。
- 5 鏡面仕上げの石材に塗布するときは、塗布後必ず乾拭きをしてください。また凹凸のある石材では吸い込みムラによる色ムラが出る場合がありますので、十分に乾拭きをしてください。
- 6 乾拭き後4~5時間は乾燥養生のため歩行しないでください。溶剤臭は換気条件が良ければ半日程で臭わなくなります。

塗 布 量 デ ー タ

基材の種類	塗布量 (㎡/ℓ)	基材の種類	塗布量 (㎡/ℓ)
大理石 鏡面仕上げ	40㎡/ℓ	施釉タイル	50㎡/ℓ
御影石 鏡面仕上げ	40㎡/ℓ	無釉タイル	30㎡/ℓ
御影石 凹凸面(バーナー等)	20㎡/ℓ	テラコッタ、レンガなど	15㎡/ℓ

塗布後のメンテナンス

- 1 日常管理の清掃は水拭きしてください。
- 2 水拭きで除去出来ない汚れや、定期的な清掃には「弊社石材専用洗浄剤」アクロンAB又はイシクリンで洗浄してください。
- 3 保護効果維持のために床面は1~2年、壁面は5~8年毎のリコートをお勧めいたします。



業務用

40・160



本 社：福岡市中央区大手門1-2-23-1105
TEL 092-713-0001 FAX 092-741-8606
須恵工舎：福岡県粕屋郡須恵町植木1341
TEL 092-937-3008 FAX 092-931-8081
URL: www.miyaki.com

営業所
札幌、仙台、新潟、北関東、千葉、東京、東京第一
東京第二、埼玉、神奈川、浜松、名古屋、大阪第一
神戸西、広島、福岡、佐賀、鹿児島

使用上の注意

揮発性の溶剤で、蒸気を吸入すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。

- 1 アリストンは引火性の物質です。MSDSを良く読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。
- 2 スプレー施工は絶対にしてください。
- 3 ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。石材や施工条件によってシミ、ムラが発生する場合がありますので本施工前に必ずテストを行い基材及び周辺基材への影響をご確認ください。
- 4 アリストンは原液のままお使いください。水や異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。
- 5 下記の様な場合は塗りムラ、密着不良や白化の原因になりますので、各要因を改善してから使用してください。

施工条件や施工環境上のトラブル原因	改善策一例
基材が十分に乾燥していない。	十分に乾燥時間を取ってから使用してください。
梅雨時等の湿度が極端に高い。	扇風機・除湿機等を使用し施工環境を改善してから使用してください。
夏季の炎天下等、基材温度が40℃を超える。	施工する時間帯等を調整する等の対策を施してから使用してください。
気温が5℃以下の時や冬季の早朝など霜が降りる様な環境。	ジェットヒーター等を使用し施工環境を改善してから使用してください。

- 6 溶剤が蒸発してしまうと反応固着が終わりします。気温によって多少異なりますが、3日~5日で完全硬化します。
- 7 塗布後24時間は、水がかからないようにしてください。
- 8 作業に使用した機材、容器等はシンナーで洗浄してください。
- 9 口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをして、医師にご相談ください。
- 10 皮膚や衣類等に付着したときは、速やかに水洗いしてください。
- 11 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- 12 取扱い作業中は、局所排気装置を設け、換気をよくして作業してください。
- 13 容器から出すときは、こぼさないように注意してください。一度別の容器等に移した液はもとの缶に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- 14 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて防毒マスク又は送気マスク、保護メガネ、保護手袋、保護エプロン等を着用してください。
- 15 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- 16 用途以外には使わないでください。

性 状

外 観	無色透明	取り扱い	火気厳禁
成 分	フッ素とシリコンの混合物	貯 蔵 性	1年 (5~30℃密閉状態で保管)
溶 剤	第4類 第1石油類	危 険 等 級	II

食品衛生法・食品、添加物等の規格基準(厚生省告示第20号)に適合
製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。

■ 施工例



福岡市営地下鉄 天神南駅

取扱店

2007.09

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	M12001
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp